

留学先国名 : アメリカ

留学先学校名 : ウェスト・ロサンゼルス大学

留学期間 : 平成 26 年 8 月 11 日 ~ 平成 30 年 6 月

交通事故にあいました。

カリフォルニアに来てからできた日本人の友達が、留学を終了して帰国することになりました。最後に思い出を作ろうということで、ロードトリップに出かけようということになりました。目的地は他州にあるセドナ、アンテロープキャニオンでした。途中にラスベガスにも立ち寄り、最高のトリップになりました。全行程 1,750miles は友達がカリフォルニアで運転免許を取得しなかったため、また自分の車で移動のため保険も友達が運転すると適用外になることから、すべて自分がしていました。最終地点ホースシューベントを出発し、いよいよロサンゼルスに向かい帰ることになりました。ここからも交代することなく、ひとりで運転です。途中にまたラスベガスで停車し、休憩がてら夜の街を散歩し、また長い一本道を登って降りて最後の山をくだっていると、いつもと違った風景が見えました。カリフォルニアでは珍しい雨でした。それもストームのような大豪雨で、雷、暴風を伴っていました。スピードを落とすものの、止まってしまうといつまでたっても帰れないので、ひたすら我慢しながらゆっくりと家を目指します。途中で渋滞に差し掛かります。大渋滞です。やはり、雨の中での運転に慣れていないのか、また道路自体が雨に対応しきれていないのか、帰り道は事故をよくみかけます。そのときは自分のことではないため、早く帰りたいの一心でした。渋滞を抜けなんとか無事に友達を家に降ろしました。そこから、自宅までは 40 分ほどで、普段から通学等で使っている道なので慣れている道ではありました。高速道路にあがってみると、いつもとは違って雨のせいで一変した姿でした。ここからも、少し眠たい、疲れた目をこすりながら、十分に減速しながら帰り道を進みます。雨でできた水たまりにハンドルを取られながら、ひやひやしながら走ります。時間が夜間でもあったため、交通量はぐっと減っていて、あの雨の中ものすごいスピードでどンドン車を抜いて走る車もありました。危ないなあ、と思って走っていると、さっき追い抜いていった車が急に停車した状態であられ、霧も濃くよく見えず、少し傾斜のある道ですぐに反応できず、運転手が車外に逃げ出しているのが、スローモーションのように見え、その運転手が逃げる際に扉を大きく開いていたため、自分の車はその扉に追突し、事故となってしまいました。人生初めての事故です。なにをしていいのかわからず、車外に出るのも後続車に轢かれるのではという恐怖心の中、車で待ちます。警察が来て、まず高速道路を閉鎖します。この時点でやっとの思いで車外に出てこの事故の悲惨さを目の当たりにします。すぐに救急車が到着し数人が運ばれていきます。幸運なことに自分を含め、大きなけがなどはなかったようですが、車 5 台が絡む大事故で、そのうち 3 台は全損状態でした。警察に事情を説明し、エンジンは動いていたので、そのまま帰路につきました。家に帰り保険会社に事故があったことを報告し、これから話が進んでいくようです。今の段階で分かっていることは、事故の発端は飲酒運転で暴走した車が雨によりハンドルを取られ急ブレーキにより制御できなくなり他車に衝突、その後続車 3 台が突っ込んだということです。初めての経験で、なにがなんだか、今だに勉強しながら物事を進めている状

況です。カリフォルニアは特に車がないと本当に不便です。長期間での生活になると必需です。メンテナンスを含め、保険、しっかり責任を持って、さらにこういった不測の事態にも対応できる準備をしておかないといけないのだと痛感しました。自分のこの経験がどこかの誰かのためになればと思います。